

# 環境教育・取組みに関するアンケートまとめ

## I. 調査概要

### ■ 調査の目的

とやま環境チャレンジ10に参加した小学校では、とやま環境チャレンジ10以外に、環境教育・取組みを行っている事例が多くあります。

本調査は、令和6年度の参加校にどのような環境教育・取組みを行ったのかお聞きし、次年度以降の参加校へ事例を情報提供することで、今後の小学校での環境教育の参考としてもらうことを目的としています。

### ■ 調査対象

令和6年度とやま環境チャレンジ10に参加した小学校 67校

※毎年行っている学校向けアンケートの質問として実施

### ■ 調査方法

専用フォーム（Google フォーム）による回答方式

### ■ 調査期間

令和6年12月10日から令和7年1月14日を返信期限として回収

### ■ 回収状況

回答 67校 回答率 100%

### ■ 調査項目

- (1) 1学期のとやま環境チャレンジ10の授業後、とやま環境チャレンジ10の授業以外で、4年生が行った環境教育・取組みはありますか。
- (2) どのような環境教育・取組みを行いましたか。
- (3) (2)の環境教育・取組みを行うことになったきっかけは何ですか。
- (4) (3)で「学校の授業計画に含まれていたから」とお答えいただいた方にお聞きします。

行った環境教育・取組みは、とやま環境チャレンジ10の実施年でない場合でも学校の授業計画に含まれていますか。

## Ⅱ.調査結果

- (1) 1学期のとやま環境チャレンジ10の授業後、とやま環境チャレンジ10の授業以外で、4年生が行った環境教育・取組みはありますか。



参加校 67 校中 56 校で環境教育・取組みを行っているという回答がありました。

- (2) どのような環境教育・取組みを行いましたか。

「とやま環境チャレンジ10」で行った取組みや特別教室で教えていただいたこと、自分たちで取り組んだ清掃活動や調べ学習でわかったこと等をスライドにまとめ、プレゼンテーションとして学習発表会で発表しました。
校区に捨てられたごみを調査し、問題点や改善点を考える総合的な学習の時間を設けた。
つくった絵本の読み聞かせ（下学年対象）
学習した内容をスライドにまとめ、家族に向けて発表（2学期）、校内に自分たちにできることを呼びかけ（3学期予定）
総合の時間を使って、自分が興味を持ったエコ活動を選んで取り組み、各クラスで自分の実践を紹介した。
校外学習（クリーンセンター、浄水場見学）
富山市環境部廃棄物対策課による「3R推進スクール」や富山市環境部環境政策課による「海洋ごみに関する小学生への特別授業」に参加した。また、総合的な学習の時間に、地球温暖化や海洋ごみの問題等、環境問題について調べ、ごみの削減に向けて自分たちにできることを考え、実行した。
総合的な学習で、常願寺川的环境、3R推進教育と地球温暖化を扱い、身の回りの環境問題として子どもたちが課題を選び、調べ活動を行った。3学期に発表をする予定。

地域の清掃活動参加、サクラマスの飼育。
消費電力を減らす取組み、残食を減らす取組み
社会科、総合的な学習の時間等と関連させて、節水を呼びかける校内放送やポスターの作成、学習発表会での発表
とやま環境チャレンジ10の取組みから広げてSDGsについて学び、どのような校区にしていきたいか目標を決め、活動を行った。
とやま環境チャレンジ10に取り組んでみた子どもたちの思いを聞いていく中で、これから取り組みたいこととして、「全校にも呼びかけたい」「他の環境問題も調べてみたい」「地域のごみ拾いを行いたい」などの内容があり、児童企画のもと、これらの実践を行った。
海洋ごみ問題について学習し、実際に岩瀬浜にごみ拾いに行ったり、自分たちにできることを考え、学年や全校に呼びかけた。
ポスターや動画を作成し、節電や残食をしないよう友達や家族に呼びかけました。
温暖化の実態や、防止について様々なチームを作り、それぞれが全校に呼びかけた。 現状を伝えるチーム：地球温暖化の原因、影響などを知らせた。 フードドライブチーム：市役所と協力し校内でフードドライブ活動を行った。 節電チーム：各クラスに節電を呼びかけるチェック表を配付して呼びかけた。 エコバッグチーム：エコバッグのよさを伝えるポスターを作成し、呼びかけた。
総合的な学習の時間に、SDGsについて調べ、壁新聞にまとめた。学習参観で、家庭にも啓発した。
食品ロスについて調べ、なくしていこうと全校に呼びかけた。
牛乳パックリサイクル
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ残しゼロ大作戦の実施(全校で)</li> <li>・環境クイズをお昼に放送</li> <li>・環境新聞の作成</li> <li>・保護者や3年生に向けて自分たちの取組みを発表(3学期)</li> </ul>
環境問題について調べ、興味をもった環境問題について詳しく調べて、新聞を書いたりパワーポイントでまとめて発表したりした。
地域のコミュニティセンターにエコに関するチラシを配り、回覧板に掲載した。HPに自分たちがつくったエコ新聞を掲載した。学校にポスターを貼った。他学年にクイズをしてもらった。
環境そのものを良くしようとするのではなく、自分達にできることは何か考え、化学肥料で植物を育てるのではなく、いつもは捨てられるだけの学校の落ち葉で腐葉土を作って植物を育てました。

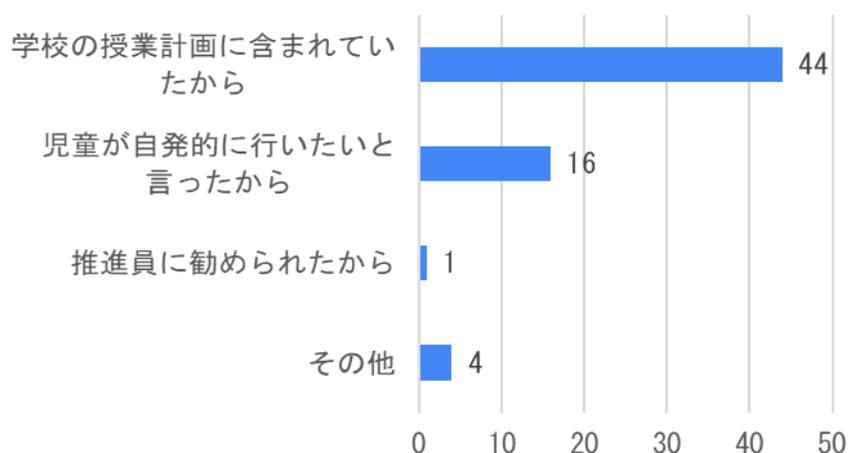
黒部名水会という出前授業を行った。
花王（株）の学習プログラムを用いて、ごみ削減や節水の学習
環境問題を調べる、（株）ゴールドウインのご協力のもとアパレル業界の環境問題について考え、古着のリサイクル活動を行った
地域に出たごみ拾い、河川敷でのごみ拾い、近くの川での水生生物調査、浄水場、浄化センターへの見学、清掃センター（となみクリーンセンター）への見学、環境新聞作り、課題別グループによる調査活動と校内や地域での呼びかけ、市の20周年記念イベントでの発表等
夢創塾での自然体験

学習発表会や学習参観で発表した小学校が多くある中、3年生に対して学習したことを発表する小学校もありました。

また、啓発ポスターや動画、絵本などを作成し、学校や地域に呼びかける小学校も多くありました。

さらには、市町村や企業等の出前講座などを活用したり、フードドライブを行ったり、地域の清掃活動に参加した小学校もありました。

(3) (2)の環境教育・取組みを行うことになったきっかけは何ですか（複数選択可）。



その他の内容

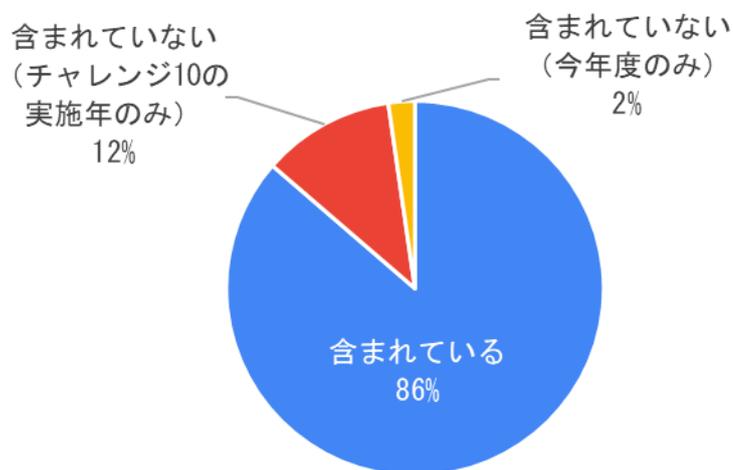
- ・ 学年でどんな総合的な学習の時間を行うか話し合った際に担任同士で小学校の自然のためのプラス1をテーマにしたからです。なにかひとつでもプラスになるようなことに取り組もうという考えです。
- ・ インターネットで見つけたから（企業の学習プログラム）
- ・ （株）ゴールドウインとの協同学習
- ・ 社会科でごみについて学習することととやま環境チャレンジ10の活動に関連させ、環境問題について学習するよい機会だと感じたから。

「学校の授業計画に含まれていたから」が最も多い回答でしたが、「児童が自発的に行いたいと言ったから」の回答も多く、環境問題に関心を持った児童が多くいたことが伺えます。

また、担任の先生が、児童が学習したことや取り組んだこと発信したいと感じたり、さらなる学習のためにご自身で調べて実施したりした小学校もありました。

(4) (3)で「学校の授業計画に含まれていたから」とお答えいただいた方にお聞きします。

行った環境教育・取組みは、とやま環境チャレンジ 10 の実施年でない場合でも学校の授業計画に含まれていますか。



とやま環境チャレンジ 10 の実施年でない場合でも、環境教育・取組みを行っている小学校が多いことが分かりました。